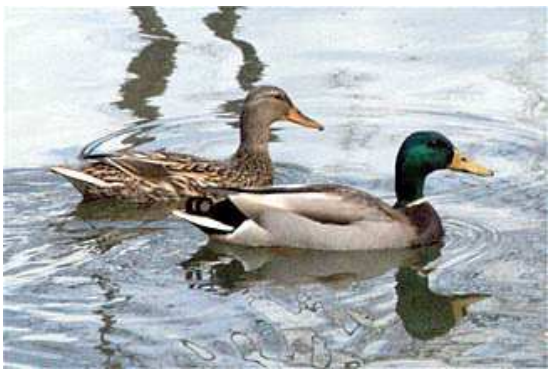
―――江部乙丘陵地のファンクラブ―――

今日の観察ポイント

2017 年 10 月 15 日

エクリプス　～カモたちの換羽～

カモやアイサ類の成鳥雄は、秋から冬にかけて種ごとの特徴が明瞭な生殖羽に換羽しますが、繁殖期に入ると飛翔に関係のない部分から換羽が始まり、繁殖期後期には風切羽が一斉に抜けて一時的に飛べなくなり、雌と同じような地味な非生殖羽に換羽します。雄のこの地味な色合いの非生殖羽の状態をエクリプス（ギリシャ語、日食などで光を失った意）と呼びます。日本に渡来したばかりの頃には既に生殖羽への換羽が始まっている種もありますが、まだこの 10 月は地味なエクリプスの個体が沢山います。警戒心が強く近くで観察するのは難しいですが、代表的なカモ類の雌雄を観察してみましょう。



【マガモ】（カモ科　淡水ガモ） L59cm。雄の頭部は緑色光沢（別称のアオクビの由来）があり、白い首輪と胸のぶどう色、灰白色の胴体、足が橙色で、繁殖期の雄は全身あざやかな体色をしている。メスはくちばしが橙と黒で、ほぼ全身が黒褐色の地に黄褐色の斑がある羽毛におおわれる。非繁殖期のオス（写真右）はメスとよく似た羽色（エクリプス）になるが、くちばしの黄色が残るので区別できる。

【コガモ】（カモ科　淡水ガモ） L37，5cm。日本最小のカモで、当地には沢山飛来している。雄の頭部は栗色と緑、体は灰色、腰の両側には黒色で囲まれた淡黄色の三角斑がある。嘴も足も黒い。雌は、他の小型のカモ同様に褐色をしているが、羽縁の内側に淡色斑が多く、ザクザクした模様に見える。エクスプリの雄（写真左上）は雌に似ており、頭部の換羽が始まらなければ識別は容易ではない。

【オナガガモ】（カモ科　淡水ガモ）　雄 L75cm，雌53cm。体も首も細長く、雄の尾は長く伸びており、雌の尾も他の種に比べて長い。雄の頭部は黒褐色、頭部の側面にある細い線と胸と腹の中央は白く、背と脇は灰色、腰の両端に淡黄色の斑がある。嘴は黒くて両側は青鉛色、足は鉛灰色。雌は褐色で黒褐色の斑があり、嘴は黒くて両側が灰色。右写真のエクスプリの雄（下）は雌（上）に似ているが、背の斑の様子や嘴の色に注意して識別する。

【ヒドリガモ】（カモ科　淡水ガモ類） L48，5cm。中型のカモで嘴は短く、首も短い。雄の額から頭頂は黄白色で、頭部から首は茶褐色、眼の後方に銀色光沢を持つ個体もいる。胸はぶどう褐色で、体の他の部分は灰色。嘴は鉛色。雌は、褐色で他の種の雌より赤味が強く、腹は白い。　右下写真のエクスプリの雄は雌に似ているが、雨覆は白い。

【キンクロハジロ】（カモ科　海ガモ類）　L43，5cm。雄の頭部は紫色光沢のある黒で、後部には垂れ下がった冠羽がある。胸・背・腰・尾羽は黒く、脇と腹は白い。嘴は青灰色で先端が黒く、眼は黄色。雌は全体が黒褐色で、後部に短い冠羽がある。眼は黄色。エクスプリの雄（右写真）は色が鈍くなるが、雌よりも黒味が強く、脇は淡色。

文：中島　　参考（フィールドガイド日本の野鳥他）